


牛久市(うしくし)

	市章 〒 300-1292 〈住所〉牛久市中央三丁目15番地1 〈TEL〉029-873-2111 〈FAX〉 029-873-7510 〈HP〉 http://www.city.ushiku.lg.jp 〈e-mail〉 webmas@city.ushiku.ibaraki.jp	地域指定 近郊整備	一部事務組合加入事業 退職手当 消防賞しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 水道 下水道使用料徴収 し尿 消防 養護老人ホーム 老人福祉センター 共同研修 火葬場・斎場 水防	公営企業 法非適用(公共下水道 宅造 市場)
	類型 II-1 地方公共団体コード 082198 面積 58.92 km ²			

<行政組織>

①長等(平成27年5月1日現在)

長	いけのべ かつゆき 池邊 勝幸 (65歳)	任期	平成27年10月2日
		就任回数	3 期目
副市長	野口 憲		

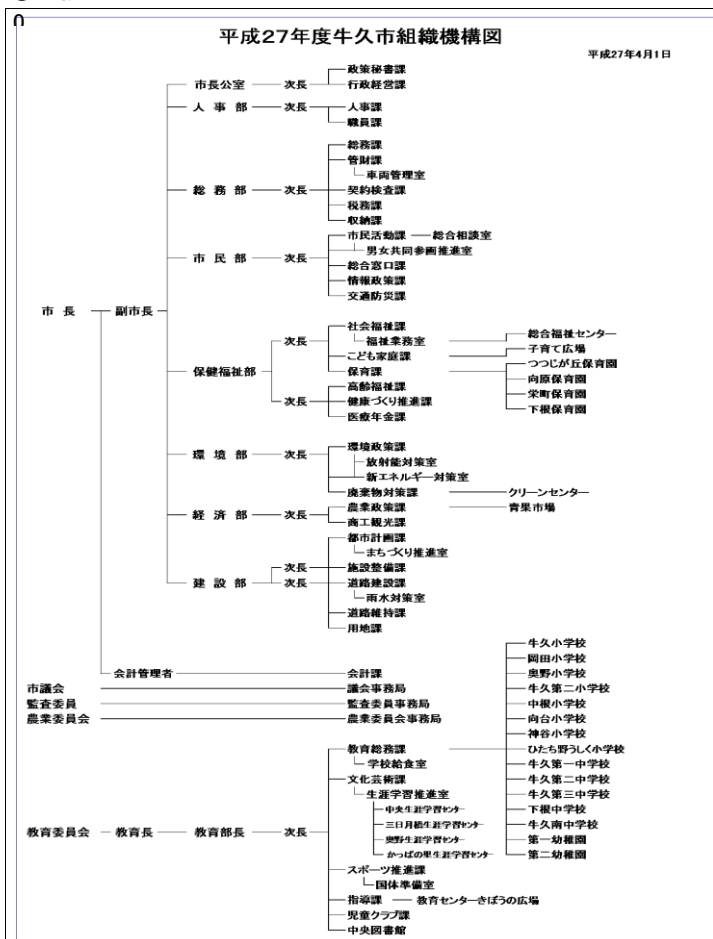
②議会(平成27年5月18日現在)

議長	市川 圭一	副議長	尾野 政子
任期	平成31年4月29日	条例定数	22 人
		現議員数	22 人
党派別	公明3人、共産3人、民主1人、新社会1人、維新1人、自民1人、無所属12人		

③職員数(平成26年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
350	325	279	25
一般行政職の平均給料月額	3,386 百円	ラスパイレシ指数 94.8	地域手当補正後ラス指数 94.8
全職員数の推移	平成23年4月1日	平成24年4月1日	平成25年4月1日
	375	360	354

④機構図(平成27年4月1日現在)



<概要>

①沿革

昭和29年1月 牛久村が牛久町となる
 昭和29年4月1日 牛久町と岡田村が合体
 昭和30年2月10日 編入 奥野村
 昭和32年7月1日 編入 阿見町大字福田の一部
 昭和61年6月1日 市制施行

②地勢・風土等

牛久市は東京から50km、県南部に位置し、東西14.5km、南北10.7kmの広がりを持っており、鼓のような形態となっている。市の中央部を流れる小野川周辺及び南西側の牛久沼周辺は低地部となっており、その他の地域は関東ローム層の稲敷台地によって形成されている。また、市内を国道6号線と常磐線が縦貫し、東西に首都圏中央連絡自動車道と国道408号線が通過しており、その地の利を生かした街づくりを進めている。特に、東部地区は、農地の保全・活用とともに2つの工業団地を有し、流通・工業ゾーンとしての位置付けがなされており、駅周辺の中心市街地とともに、市民と行政が一体となった魅力ある街づくりに取り組んでいる。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成27年4月1日)	
	平成12年	平成17年	平成22年		
人口	男	36,390	38,339	40,803	41,732
	女	36,868	38,884	40,881	42,230
	合計	73,258	77,223	81,684	83,962
世帯数	24,763	27,917	31,569	33,704	

④平成27年3月2日現在登録者数(人)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 24.8 %
	33,646	34,472	68,118	

<産業・経済>

①生産・所得(平成24年度)

市町村内総生産	2,157 億円	就業者1人当り	7,643 千円
住民所得	2,425 億円	人口1人当り	2,924 千円

②産業構造

区分	総生産額(平成24年度)		就業人口(平成22年国調)	
第1次	1,254	0.6 %	773	2.0 %
第2次	53,564	22.9 %	9,391	24.6 %
第3次	156,843	75.8 %	26,265	68.9 %
総額・総数	215,747	—	38,111	—

③農業・工業・商業

産業	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
農業 (平成22年2月1日)	792	144	882
製造業	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H25.1.1~12.31)
製造業 (平成25年12月31日)	54	2,574	79,752
卸・小売業	事業所数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
卸・小売業 (平成24年2月1日)	587	5,428	104,114

④特産物

落花生, 大根, すいか, 白菜, さつま芋, 小菊

＜財政状況＞

①決算収支

(千円・%)

区分	平成24年度決算	平成25年度決算	増減率
歳入	27,576,347	27,654,463	0.3
歳出	25,206,636	25,895,804	2.7
形式収支	2,369,711	1,758,659	-
実質収支	805,524	911,755	-
単年度収支	135,966	106,231	-
実質単年度収支	△ 1,382,286	482,316	-

④市町村税の状況(平成25年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	5,482,046 (42.6)	4,966,321 (42.6)	90.6 [91.5]
市町村民税・法人 (構成比)	663,408 (5.2)	644,062 (5.5)	97.1 [98.1]
固定資産税 (構成比)	5,097,036 (39.6)	4,599,479 (39.4)	90.2 [91.3]
市町村税合計 (国保除く)	12,855,266	11,668,281	90.8 [92.4]

②主な歳入・歳出(平成25年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	27,654	-	78	0.3
地方税	11,668	42.2	78	0.7
地方交付税	1,554	5.6	△ 184	△ 10.6
国庫支出金	4,042	14.6	643	18.9
地方債	1,620	5.9	△ 543	△ 25.1
うち臨財債費	1,355	4.9	-	-
その他	8,770	31.7	-	-
うち繰入金	1,506	5.4	-	-
歳出	25,896	-	689	2.7
義務的経費	11,046	42.6	△ 9	△ 0.1
人件費	4,121	15.9	△ 79	△ 1.9
扶助費	4,748	18.3	359	8.2
公債費	2,177	8.4	△ 289	△ 11.7
投資的経費	4,412	17.0	-	-
普通建設事業費	4,395	17.0	755	20.7
うち補助	3,210	12.4	532	19.9
うち単独	1,185	4.6	224	23.3
その他の経費	10,438	40.4	-	-
うち繰出金	2,494	9.6	-	-

③主要指標(平成25年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (12.80)
連結実質赤字比率	- % (17.80)
実質公債費比率	5.1 % (25.0) [9.0]
将来負担比率	- % (350.0) [42.9]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成24年度～平成26年度)	0.884	[0.696]
経常収支比率	91.3 %	[88.2]
標準財政規模(平成26年度)	14,654 百万円	[15,097]
地方債現在高(A)	21,921 百万円	[23,121]
債務負担行為支出予定額(B)	3,824 百万円	[2,998]
積立金現在高(C)	4,617 百万円	[7,686]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	21,128 百万円	[18,433]

※1 ()は早期健全化基準, []は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均, それ以外は単純平均

＜公共施設整備状況＞(平成25年度) ※1は平成26年度

小学校 ※1	8 校	プール	2 か所
中学校 ※1	5 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	8 園	老人福祉施設	33 か所
保育所 ※1	17 か所	病院・一般診療所	55 か所
図書館	1 か所	道路改良率	57.7 %
公営住宅	311 戸	道路舗装率	68.4 %
公民館等	7 か所	上水道等普及率	89.0 %
体育館	1 か所	汚水処理普及率	92.8 %

＜主要施策等＞

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
ひたち野うしく小学校校舎増築事業	H26～	児童の増加が著しく、教室数の不足が見込まれるひたち野うしく小学校の校舎を増築し、子どもたちが安心して学ぶことができる教育環境の整備を図る	476
牛久駅東口再整備事業	H24～ H28	安全で全ての人に利用しやすい駅東口の再整備を進め、けやき通りやシャトーカミヤと連携した周遊空間を整備する	729
牛久運動公園野球場改造事業	H23～	茨城国体の会場として、また、様々な大会の開催を通じて集客力を上げ、スポーツの活性化を図るため野球場を改造する	1,800
バイオマス産業都市の構築	H25～ H28	バイオディーゼル燃料やペレットの製造、公共施設へのペレット・薪ストーブ設置、空調熱源改修など実施し、低炭素地域づくりとエネルギーの地産地消を推進する	1,241
清掃工場の延命化	H27～	老朽化した清掃工場延命化・長寿命化のため、基幹的設備の改良を行う。	2,203

②今後の主要課題・特色ある行政等

＜主要課題＞

- ・少子超高齢化社会の進展に伴う税収減・扶助費の増に対応した財政運営
- ・ワインビレッジ構想に基づく牛久駅周辺の活性化
- ・グリーンロード構想に基づく地域づくり
- ・雨水対策事業の推進
- ・清掃工場設備の改修
- ・牛久駅周辺地区の活性化
- ・(仮称)地域医療連携センター建設
- ・市道23号線(城中・田宮線)の整備

＜特色ある行政＞

- ・自然との調和と共存を目指したスローシティのまちづくり
- ・小学校区単位での地区社協の設立
- ・小学校区単位で行う市政協議会の開催
- ・小学校区空き教室を利用した保育園の運営
- ・学校教育と連携した児童クラブの運営
- ・非常勤一般職の月額報酬制の導入
- ・バイオマスタウン構想による地域循環型社会の構築
- ・コミュニティFMを活用した地域情報の発信